

・選挙の女子高生の立場や 65 歳のイジフル社長の立場やさまざまな立場からの意見にも納得できたし、そこでの選挙の例が身近でわかりやすかったです。また、戦争の話も実際の話だから毎日を大切にしないと思いました。

・世の中にはいろいろな立場の人がいて子供、子供がいる大人、フリーな大人、おじいさん、社長など、それぞれ意見が異なり考え方も違います。いろんな人がいるのに世の中でまとまっていることがすごいと思います。私は投票に行ってもっと世の中がまとまれるようにしたいです。

・選挙の話とか震災、戦争の話を聞いて新たな視点を切り開くことができた。主権者教育を通していろいろな考えが深まった。

・選挙の報道は難しいだろうなと想像できた。新聞社の人にもそれぞれ意見があるはずだけど、それを出すわけにはいかないし、どれくらい誤った情報などを規制してよいのか判断しにくいと思った。自分で情報を集め、判断することが大事だと再認識した。

・普段政治について話し合わないの、政治のどの分野に興味があるのかを知り、「こんなこと興味持ってるんだ」と思い驚きました。

・1 票のおもみを信じて 18 歳になったらちゃんと投票に行こうと思った。自分は全くニュースを見ないので見るべきだなと思った。

・私は今の日本が危ない状況にいると思います。若者の投票率が低く、これからの未来の中心になる人々の意見が全く通っていないからです。政治の話はめんどくさくても、民主主義国家に生きている限り国に自分の意見を伝えるのは当たり前であり義務だと思います。もっと選挙が身近で、オーストラリアみたいに楽しんでやるものになればいいなと思います。

・私は神戸市が大好きなので、その神戸が持つ多くの責任について、気付かせていただいたことに感謝です。

・戦争と平和は言葉の意味が繋がっている。でも、災害や未来などの言葉も全て繋がっていることを知れた。

・選挙において、よく考えられることは政治を主にメディアが紹介することで、外国の情勢や北方領土などのことはあまり考えられておらずそこをもっと発信していくべきだと考えた。

・全ての問題について考えているとキリがないと分かったので、今は自分の一番興味のあることについて詳しく知る努力をしようと思った。特に第2次世界大戦あたりについては興味が持てるので、まずはそれを調べてみようと思います。

・私たち若い世代が日本社会を変えることができるし、変えなければならない。そんな事実には驚きつつもとてもワクワクしました。選挙のお話や今の社会情勢、色々なお話を聞かせていただきましたが、私たちが過ごしやすい社会にするためには私たちが変えなければならい。私たちが考えて投票したり行動を起こすことによってより良い社会になると思います。早く18歳になって選挙するのが楽しみです。

・選挙の話から、沖縄戦や震災の話に移ったときには不思議でしたが、選挙に関わるのかと思って納得しました！ 1時間目の授業がとくに、面白かったです。

・政治の関心が強まりました。世界が一つになるのはまだまだ難しいなと改めて思いました。いつ死ぬかは分からないので今の時間を大切にしたいです。

・私たちの一票がすごく大事というのがわかったので、選挙権を持ったら必ず投票しようと思った。政治は財政がほとんどだと思っていたけれど、災害や平和活動にも深く関わっているということを知って、すごく大切だなと思った。

・メディアが発信しないと一般の人が知り得ない悲しい事実や広めなければいけない情報を得ることができないことを学び、メディアの存在の大きさを学ぶことができた。

・選挙に行ったら少なくとも後悔はしないと思うからいってみようと思いました。

- ・誰を選ぶかによって生活が変わってくるから選挙はちゃんと参加しないと。

1票の価値が221万円に驚いた。具体的に数値にされるとその重さに気づく。

- ・主権者教育がどんなものか分かってなかったので驚いた。メディア、新聞がどんな役割を果たしているのかがよくわかった。学校では教えてくれないことなのでとても有意義な時間だったと思う。

- ・戦争とか国際問題とか他人事だと思ってたけど、自分達の1票が本当に関わってくるんだなと思った。

- ・選挙の大切さについて考えた。1票の価値が想像以上に高く、驚いた。自分も選挙に行って国に良い未来を届けていけるようにしたい。

- ・1票で変わらないから

- ・私たちがあと2年で選挙権を得る、ということを強く実感する講義だった。現在の社会問題で、私たちの意見は強く求められている。私たちは、それに応えていかなければならない。

- ・1票で変わらないから意味がない、と思って投票しなかったら何も始まらないので投票するべきだと思いました。

- ・主権者教育、と聞いていたので選挙の話だけだと思っていましたが他の情報も多くて新聞社の方はすごいなと思いました。平和について教育をたくさん受けていることで忘れないようにしよう、というより忘れられないものになっています。

- ・人々の意見を政治などに反映することは難しく、その出来事を偏られない意見で新聞を発行するのは大変な仕事だと思いました。

・今はスマホを小学生でも持っていて誰でも簡単に情報を手に入れることができるのでデマかどうかを判断することは大切だし、自分の意見を持つのも大切だと思う。簡単に情報を共有できるからこそ、震災や戦争といった忘れてはいけないことを残し続けることも、伝えていくこともできるのではないかと思った。

・公民の授業等で「投票率の低さ」が問題であるという事を学びはするが、いまいち実感することがなかった。しかし、今回の講演で投票率が低いことがなぜ問題なのかというのを例をもとに理解することが出来、現在の若者の投票率の低さが大きな問題であることが分かった。

・一見賛成票が多くても、人口と投票率をかけると結果的に反対になってしまうことが納得できた。高齢者は人口も多いし、投票率も高いので、投票という全体の意見をとるものなのに世代が偏ってしまうことがわかりました。

・将来絶対に投票には行きたいと思っていたのですが、実際1票にどれぐらいの重さがあるのかというところでわかっていませんでした。今日の講演を聴いて1票の重みについてよくわかったのと同時に、若い世代が選挙へ行くことへの重要さもわかったのでより選挙に関心を持てました。

また、今まで起きた歴史の事象は少なからず選挙の関心へとつながっていることから、日本の問題も、今世界で起きてることも決して他人事じゃないとも思いました。

・全ての人に1人1票しか与えられてないので、1票はものすごく大きいので、自分の票を有効活用したいし、周りの人にも投票を薦めたい。

人の命はとても大きいので、それが一つでも失われないような防災政策や外交政策を行っている政党を支持したい。

日本の発展も大切だが、世界全体の人間や生物のためになるような政策を応援したい。

・未来のためにも自分のためにも投票をして変えていく事が必要だということが実感できた。